

バイオマス資源の触媒的変換によるレブリン酸合成反応の開発



根本耕司 研究員

**((国研) 産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター
官能基変換チーム)**

2016年1月8日(金) 15:30—16:30

創成科学研究棟4階セミナー室A

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

持続可能な社会の構築のためには、バイオマスを始めとする再生可能資源を利用した物質生産システムの構築が必要である。近年、このような観点から、セルロースを始めとする植物由来バイオマス資源を有効に活用し、より高付加価値な化合物へ変換するバイオマスリファイナリーが耳目を集めている。本講演では、バイオマスリファイナリー研究の最新の動向と、当研究グループが開発したバイオマス変換触媒を用いたレブリン酸合成反応について紹介する。

問合せ先： 触媒科学研究所・小林広和(kobayashi.hi@cat.hokudai.ac.jp・011-706-9137)

<略歴> 2013年4月～現在：(国研)産業技術総合研究所触媒化学融合研究センター官能基変換チーム研究員, 2015年11月～：(国研)理化学研究所環境資源科学研究センターバイオプラスチック研究チーム客員研究員※2009年度に博士学位取得(東北大学・環境科学研究科・服部研究室)後,学振特別研究員,理化学研究所での特別研究員を経て産総研に入所,現在に至る。<主な賞歴, 学会活動> 触媒学会討論会委員(H26年度～),触媒学会・ファインケミカルズ合成触媒研究会世話人(H26年度～)
<研究分野またはキーワード> バイオマス変換,触媒化学,有機合成化学